出血線・大

使用器具

ヒールゼリーで治癒できない大きな切り傷は、針と糸を使って傷を縫うという処置が必要となる。縫合は傷口に対してジグザグに行なうのだが、その際に「糸の長さが規定の長さ以上あるか」、「折り返しの左右幅が揃っているか」、「傷の中心線と縫合の中心線が合っているか」、「傷の角度と縫合線の角度が合っているか」、「折り返しの回数が少なすぎないか」という5つのポイントで処置の評価判定がなされる。すべてをパーフェクトにこなせば*Cool*を獲得できるが、これらのうちひとつでも許容範囲外の処置をすると、問答無用で*Bad*になってしまうので注意しておきたい。すべての手順を終えて手術が終了すると表示されるRESULT画面で、ランクSといった高評価を得るためには、このような基本の術式で*Bad*を取らないことが条件となる。

●出血線・大の手順

❶ 針と糸 ………傷を縫う

評価・判定ポイント

・縫合線の長さ、幅、中心位置、傷に対する角度が正確
・折り返し回数が規定数以上ある

❶針と糸 その1
STITCHES

出血線・大は、すみやかに縫合。放置しておくとバイタルの低下を招き、それだけ手術時間が延びる。

❶針と糸 その2
STITCHES

判定基準は、傷の長さによって変化する。傷ごとに縫合線の長さと折り返し回数などを調整しよう。

異物除去

使用器具

体に刺さった異物を除去、回収する際の基本の術式。ピンセットで異物をつかんで引き抜いたあと、画面右側に表示される回収トレイへと運ぶ。その後、傷痕にヒールゼリーを塗れば完了となる。ここで判定されるのは「抜き角度」と「抜きミス回数」、「トレイに運ぶときに異物を落とした回数」の3点。異物が刺さっている傷に対してほぼ垂直(88〜92度)で抜けば*Cool*、ミスにならない角度(85〜87、93〜95度)で抜けたら*Good*になり、角度が悪いと即*Bad*となる。なお、抜いたあともしっかりと異物をつかんでおき、回収トレイにポインタカーソルの光点が当たる位置まで移動させてから離せば、異物を術野に落とすミスは起こさずにすむ。

●異物除去の手順

❶ ピンセット ……異物を抜く
❷ ピンセット ……異物をトレイに運ぶ
❸ ヒールゼリー …傷に塗る

評価・判定ポイント

・傷に対してほぼ垂直に異物を摘出
・摘出時にミスをしない
・異物を落とさずトレイに運ぶ

❶ピンセット
FORCEPS

異物を一度つかんだら離さずに抜き切ること。離すと*Miss*になり、その時点で*Cool*は取れなくなる。

❸ヒールゼリー
ANTIBIOTIC GEL

異物を抜き取ったあとに残る傷痕は、出血線・小のときと同様にヒールゼリーを塗って治療する。